

オザックスが『ASPIC IoT・AI・クラウドアワード 2019』にて ユーザ部門 総合グランプリを受賞！

～ クラウドを活用した企業変革（社内ドキュメント電子化）への取り組み ～
約 52 万枚の伝票を電子化。業務コスト削減効果は約 2700 万円／年の削減を実現

オザックス株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役：尾崎 豊弘、以下「オザックス」）は、2019年11月8日、特定非営利活動法人 ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアム（略称：ASPIC／東京都品川区／会長：河合 輝次）が主催する第13回「ASPIC IoT・AI・クラウドアワード 2019」のユーザ部門において、「総合グランプリ」を受賞いたしました。



授賞式にて表彰状を受け取る オザックス 情報システム本部 常務執行役員 富山 友貴（右）

1. 受賞内容

【エントリー部門／受賞】

ユーザ部門／グランプリ

【利用サービス名／提供ベンダー】

@Tovas／ココロ株式会社（本社：大阪府大阪市、社長執行役員：黒田 英邦）

【エントリー内容概要】

クラウドを活用した企業変革（社内ドキュメント完全電子化）への取り組み。100年を超える歴史を持つ弊社では、データ活用が今後の成長に不可欠と判断し、その第一歩として紙の業務（請求書などの取引関係書類）の電子化に着手。複数クラウドを組み合わせることでコスト削減の実現や働き方改革を推進した。現在の当社の全システムにおけるクラウド化率が約57%。2016年以前から37%向上し、今後もクラウド化率90%を目標に推進している。その一つとして行った、従来紙で行っていた伝票の電子化では「@Tovas」を活用し、約52万枚の伝票を電子化。業務コスト削減効果（試算）は、年間にして約2,700万円以上※1の削減を実現。これにより、紙伝票発行の大幅な時間短縮を実現し、本来業務へのウエイトを高くし、生産性向上と経費削減の両立を実現した。

※1 試算方法：用紙費＋印刷費＋封筒費＋保管費＋郵送費用＝2,700万円／年

（まだ未検証であるため、作業人件費においては、大幅に削減されているが、本試算には含まず）

2. 第 13 回「ASPIC IoT・AI・クラウドアワード 2019」について

第 13 回 ASPIC アワードは日本国内で優秀かつ社会に有益なクラウドサービスに対し、総務大臣賞、他各賞の表彰が行われます。これにより、クラウド事業者及びユーザ企業の事業拡大を支援し、クラウドサービスが社会情報基盤として発展・確立することの一助になることを目的としています。 エントリー部門は、ASP・SaaS 部門、IaaS・PaaS 部門、IoT 部門、AI 部門、データセンター部門、運用部門、ユーザ部門の 7 部門に分かれており、第 13 回となる今回も多数の応募の中からグランプリおよび各賞が決定しました。

■ 報道関係者からのお問い合わせ先

オザックス株式会社

経営企画本部 IR・広報室 担当：秋林

電話：03-6860-3881

関連リンク:

記載された情報は、掲載日現在の情報です。

ご覧いただいた日と情報が異なる可能性がございますので、あらかじめご了承ください。

[参考情報]

【オザックス株式会社】

オザックスは外食、小売、アミューズメント業界等の大手企業を対象に、各店舗で使用する包装資材や消耗品などのあらゆる業務用資材を販売する、業界屈指のグローバル企業です。

特に国内外 2,000 社以上の圧倒的な仕入先との取引は、お客様の必要とする業務用資材 10 万超のアイテムをラインナップ。お客様の発注・納品・支払業務を一手に引き受けるとともに、「必要な時」に「必要な量」を「必要な場所」へお届けする、オザックス独自のビジネスモデル「OSD(One Stop Distributor)」は、様々なお客様の業務の効率化・合理化に貢献しており、大変高い評価を頂いています。

<会社概要>

◇所在地：東京都千代田区内神田 1-5-12

◇代表者：代表取締役会長兼社長 尾崎 豊弘

◇URL : <https://www.ozax.co.jp/>